令和 5 年度 第 2 回宮城支部評議会の概要報告

開 催 日 時	令和 5 年 10 月 27 日 (金) 10 : 00 ~ 12 : 00
開 催 場 所	TKP ガーデンシティ仙台勾当台「ホール 1」
出 席 評 議 員	阿部評議員 (議長)、伊藤 (紀) 評議員、大森評議員 稲妻評議員、小田島評議員、高野評議員、沼口評議員 (五十音順)
議 題	1. 令和 6 年度 保険料率について 2. 令和 6 年度 宮城支部事業計画及び支部保険者機能強化予算策定について
議 事 概 要 (主な意見等)	<p>◆事務局より、各議題について説明。</p> <p>◆各評議員より、各議題内容に関してご意見をいただいた。</p> <p>1. 令和 6 年度 保険料率について</p> <p>【事業主代表】</p> <p>事業主の立場からすると、少しでも保険料率を引き下げてもらいたい。しかし、事務局から示された試算をみると、どのケースでもいずれは準備金が枯渇し保険料率を引き上げなくてはならない状況となるため、以前から議論してきた通り、保険料負担のギリギリ (限界) である 10% を維持することはやむを得ないと考える。</p> <p>【被保険者代表】</p> <p>平均保険料率の 10% 維持はやむを得ないと考えているが、わずかに賃金が増えても物価上昇などで実感が得られない状況の中、社会保険料負担について関心を持つ被保険者も増えているため、わかりやすく納得の得られる説明を行ってほしい。</p> <p>【学識経験者】</p> <p>学識経験者の立場として、示された資料をみる限りでは、平均保険料率の 10% 維持は納得できるものであるが、事業主や被保険者の納得を得られることも大切であるため、どのように説明を行うのかお聞きしたい。</p> <p>また、支部間の取組や説明の格差で、宮城支部の加入者が苦しんだり、納得できないまま保険料負担したりすることが無いよう、他支部の好事例を積極的に取り入れてほしい。</p> <p>【事務局】</p> <p>生活習慣病予防健診の自己負担軽減や付加健診の対象年齢拡大等の保健事業の更なる推進と合わせて保険料率に関する説明を行うことで、保険料率や財政状況だけではなく“長く健康でいるために保健事業をご利用ください”というメッセージを一緒に発信し、皆様の納得を得ていきたいと考えている。</p>

【事業主代表】

資料の中に、「財政状況が悪化した組合が解散を選択し協会けんぽに移る事態が予想される」とあるが、実際にここ数年でどのくらいの健康保険組合が解散に至ったのか伺いたい。

また、“準備金が4兆7414億円積み上がっている”と数字だけで聞くとかなり余裕があると思われるため、加入者が身近に感じられるような表現を使ってわかりやすくPRを行ってほしい。

【事務局】

2019年に人材派遣健康保険組合及び日生協健康保険組合という規模の大きな組合が解散し協会けんぽに移ったが、それ以降、大きな組合は解散していない。なお、小さな組合の解散や、事業所の出入りは年数件程度ある。

【議長】

協会財政の現状認識と中長期的な視点で安定した財政運営を目指すことについては、一定の理解ができるものであり、平均保険料率の10%維持とすることに異論はないということによろしいか。また、保険料率の変更時期を4月納付分(3月分)からとすることについても異論はないということによろしいか。

→全会一致で承認。

2. 令和6年度 宮城支部事業計画及び支部保険者機能強化予算策定について

【被保険者代表】

資料にある一人当たり医療費の中で、宮城支部は歯科の部分だけ全国平均よりも低くなっている。今後、歯科検診の義務化もあると聞いているため、歯科の医療費についてどう考えているのかお聞きしたい。

【事務局】

宮城支部の歯科の一人当たり医療費が低い要因については、歯科検診による予防の効果もあると考えているが、歯科検診は保険診療ではなく全額自費のため資料の医療費金額に含まれていない。歯科検診の導入が検討されているが、詳しい情報は入ってきていないため、現時点では何とも申し上げられない状況である。

【学識経験者】

肺がんの入院医療費が高い状態が続いているということだが、喫煙者以外も肺がん罹患することもあり、また、肺がんは見つけにくく症状が出てきた段階では手遅れの場合が多い病気であるため、喫煙対策だけでなく早期発見につながるような取り組みが必要なのではないか。

【事務局】

喫煙者対策以外の肺がんの医療費抑制にかかる協会けんぽの取組に関しては、現在、胸部レントゲン検査と付加健診の肺機能検査を健診項目に加えて実施しているが、肺機能検査については感染症拡大防止のため、中止対応をとっている健診機関がある。

【事業主代表】

喫煙対策に関しては、会社にもっと強い通知を出したり専門職を派遣したりするなど事業所に対する取り組みはできないのか。

【事務局】

受動喫煙防止に関して、出前健康づくり講座、DVD 貸出、ポスター配布などを通して事業所様に喫煙者対策のサポートをしているが、今後は業界団体から協力を得ながら、現場で作業している方にまで届くような効果的な取り組みを行ってまいりたい。

【学識経験者】

喫煙問題を全体で考えた場合に、JR 西日本では新幹線が駅のホームも含めて原則全面禁煙なるのに対し JR 東日本では新幹線車両は全面禁煙だが駅ホームに喫煙所が設置されているように、西高東低にならないよう文化や風土を考慮した喫煙対策が必要と感じる。

【被保険者代表】

従業員からすると出前健康づくり講座が一番効果的と感じるが、日中現場にいる従業員は決まった時間に集まるのは難しいため、会社側も受講の有無を確認できるようにしたうえで、現場の従業員も自分の健康状態を意識させる取り組み（DVD 配布や E ラーニングなど）が大切であると考えます。

特 記 事 項

- ・傍聴人：東北大学大学院生 1 名。
- ・次回は令和 6 年 1 月開催予定。